

カトリック京都教区 奈良ブロック 宣教司牧計画

2020年～2023年

長期目標

わたしたち奈良ブロック信者は、

- I これからの教会を担う青少年を育成する。
- II 福音宣教する教会共同体になるために、信徒の信仰養成と、信徒の奉仕職を充実させる。
- III 滞日外国人の人々と連帯し、多国籍の教会共同体を作る。

奈良ブロック 2020年の宣教司牧計画

短期目標 1

各教会は、青少年・リーダー・保護者の信仰を深めるために、「奈良県青少年の集い」と「教会学校合同企画行事」および「教区青少年委員会・信仰教育委員会の企画行事」への青少年・リーダー・保護者の参加を呼びかけ参加のための支援を行う。

短期目標 2

ブロック及び各教会は、共同宣教司牧の精神に基づき、信徒の信仰養成と奉仕職を深める為の研修・講座・分かち合いを実行する。

短期目標 3

多国籍の共同体を実現するために、日本人と滞日外国人の方々との交流、分かち合いを定期的に実施して、お互いの理解を深める。

短期目標 4

先人の信仰を学び、信仰生活を見直す糧とする。とくに一昨年列福されたユスト高山右近の取次ぎを願い、列聖を祈念する。

短期目標 5

奈良県キリスト教連合会 2020年伝道大会ホスト教団として、広く県民がキリストの教えと出会えるよう開催に努力する。

大和高田教会 2020年の宣教司牧計画

【計画 1】

青少年と保護者の信仰を深めるために、奈良県青少年の集い、各教会学校との交流、右近こどもまつり、教区主催の海外体験・広島中学生巡礼など積極的に、呼びかけ、参加支援を行う。

【計画 2】

オータムフェアを開催することにより幼稚園・スカウトと教会の交流を図るとともに地域の方々、ベトナムコミュニティの参加を得て親しみやすい教会に努める。

【計画 3】

滞日外国人、特にベトナムコミュニティのみなさんと主日のミサ(朗読・共同祈願)、教会活動を共にすることで彼らの信仰心を学び、私たちは日本語を活動の中で教えて、お互いの理解を深める。

【計画 4】

初めて教会に来られた人に神父・シスターを紹介し、入門講座を案内する。信徒には改めて、聖書講座の参加を呼びかける。

【計画 5】

奈良県キリスト教連合会 2020年伝道大会の意味を広報を通して「キリストの教えとの出会いの場」で、宣教の一環と理解し、教会内はもちろん、近隣の人たちにも知っていただけるよう努める。